
2019年3月期 決算説明資料



2019年5月10日



本資料の如何なる情報も、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

1

当社グループの報告セグメント

電子機器用部材事業

PWB用部材を始めとする電子部品用
化学品部材の製造販売及び仕入販売



医療・医薬品事業

医療用医薬品・医療用医薬部外品
その他に関する開発・製造販売



その他

染料・顔料等の化学品の製造販売、
自然エネルギーによる発電事業及び
ソフトウェア開発等



※2018年3月期第4四半期より医療・医薬品事業を本格的に開始し、報告セグメントを変更しております。

用語	内容
PWB (Printed Wiring Board)	プリント配線板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト (レジストインキ)
PKG (Package)	半導体パッケージ

3

当社グループの製品分野

分野	分類		性状	用途
PWB用 絶縁材料	リジッド	高機能品	液状	表層保護・絶縁用 S R 材料
		汎用品		
	PKG		液状 ／ドライフィルム	
	フレキ		液状 ／ドライフィルム	
	ビルドアップ		液状 ／ドライフィルム	
その他 関連商材	その他		液状	マーキング・エッチング・めっき用材料 フラックス・溶剤等・導電性銀ペースト

4

2019年3月期 トピックス

1

為替は想定レートより円安に推移

※ (円・USD) 実勢レート：110.7円/通期想定レート:101.5円

2

①米中貿易摩擦などの影響により、世界経済の不透明感が顕在化

②半導体市場の急速な悪化

3

前年同期比で販売数量はPKG向けDFが増加
一方、リジッド向けが減少

4

長期収載品13製品の移管完了

新たな長期収載品1製品の譲受(2019年3月28日)

5

第一三共プロファーマ株式会社の高槻工場の承継を発表

(株式譲渡日は2019年10月1日予定)

＜特別損失の発生理由＞

連結初年度における、MNT社の実績が計画値を下回ったことを背景とし、MNT社の事業価値を会計上厳格かつ保守的に見積もった結果、一括費用処理いたしました。

＜特別損失の内容＞

連結　：減損損失　1,311百万円

個別　：関係会社株式評価損　1,013百万円
　　　：関係会社貸倒引当金繰入額　351百万円

関係会社株式評価損及び関係会社貸倒引当金繰入額は、連結決算において消去されるため、連結損益への影響はありません。

2019年3月期において損失計上することにより、2020年3月期以降はのれん償却費321百万円の計上がなくなる見込みです。

連結業績サマリ

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	前期比	増減率	2019年3月期 [※]	達成率
	通期 累計実績	通期 累計実績			通期 業績予想	
売上高	52,241	59,389	+7,148	+14%	60,200	99%
営業利益	11,337	8,099	-3,238	-29%	9,800	83%
経常利益	11,199	8,014	-3,185	-28%	9,600	83%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,856	4,396	-460	-9%	6,700	66%
円・USDレート	110.8	110.7			101.5	

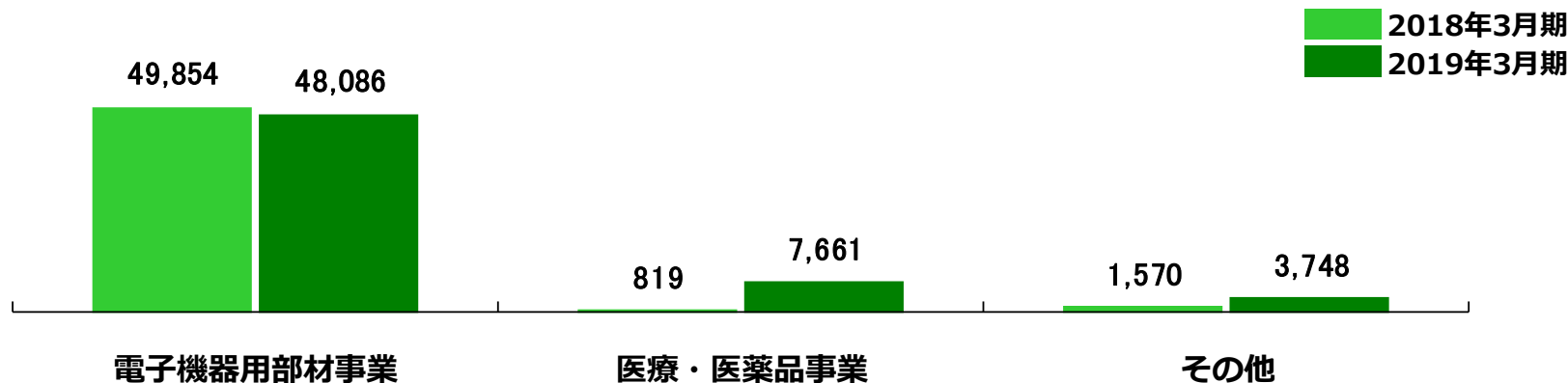
※2018年5月2日開示の業績予想を記載

7

2019年3月期 セグメント別売上高・営業利益

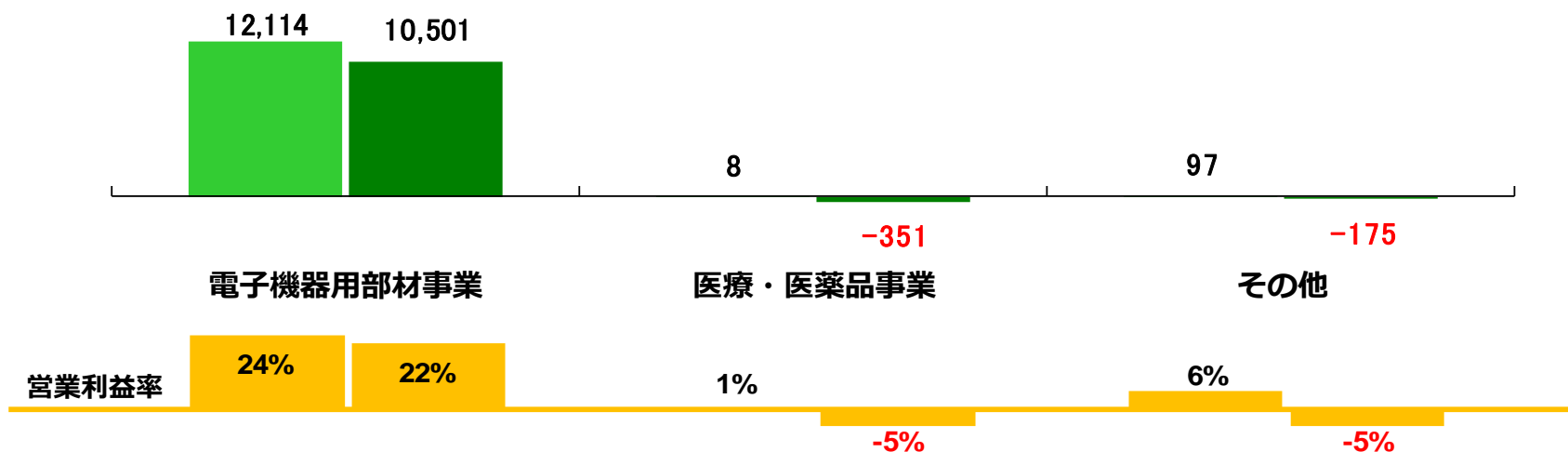
セグメント別：売上高 (セグメント間売上高・振替含む)

単位：百万円



セグメント別：営業利益 (セグメント間売上高・振替含む)

単位：百万円

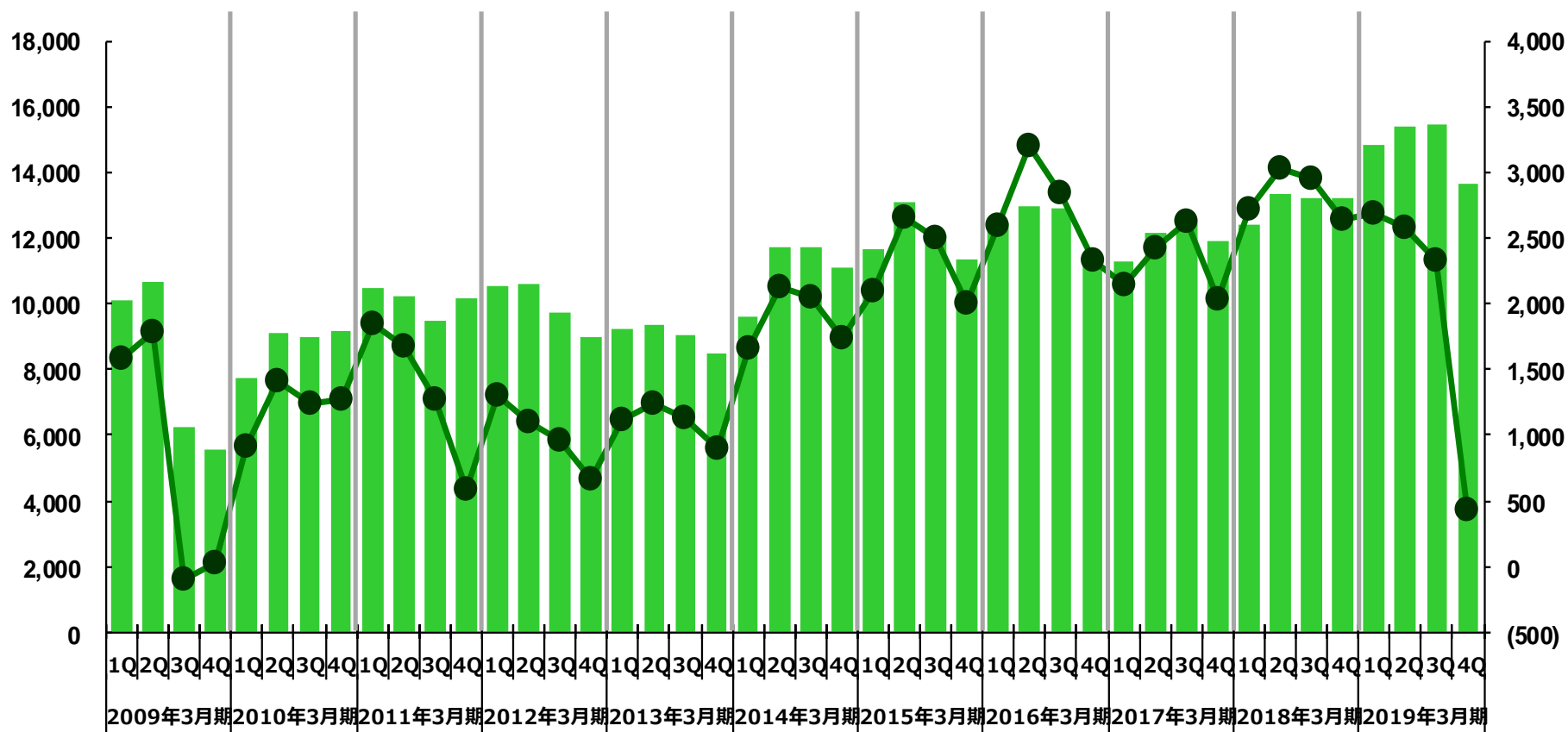


8 売上高・営業利益 四半期別推移

四半期別推移：売上高/営業利益

単位：百万円

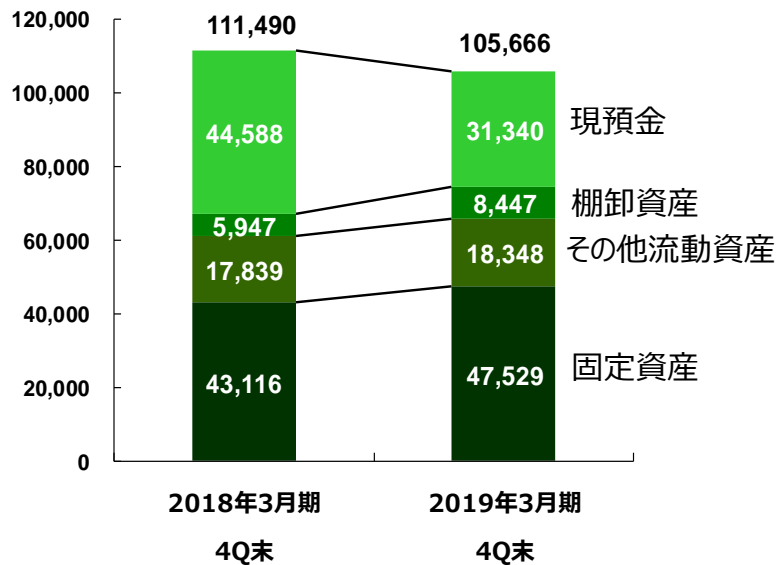
■ 売上高（左軸）
● 営業利益（右軸）



BS前期比較

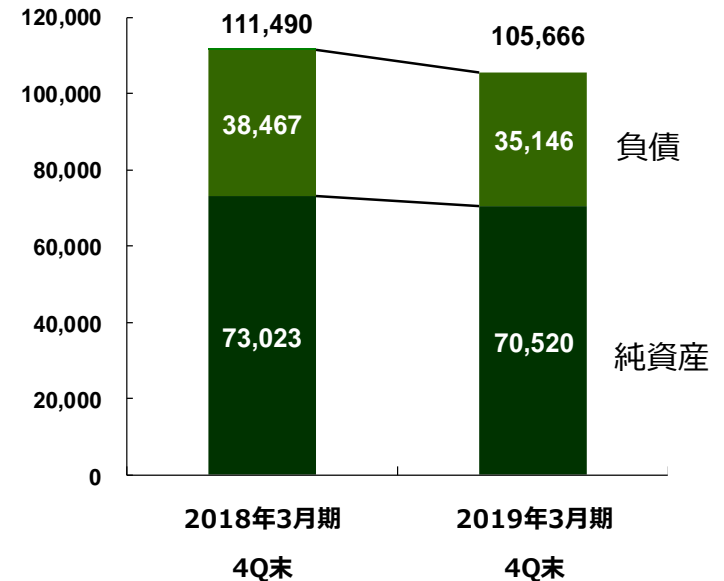
単位：百万円

資産



- ・新工場建設に伴う有形固定資産の増加
- ・借入金返済による現預金の減少

負債・純資産

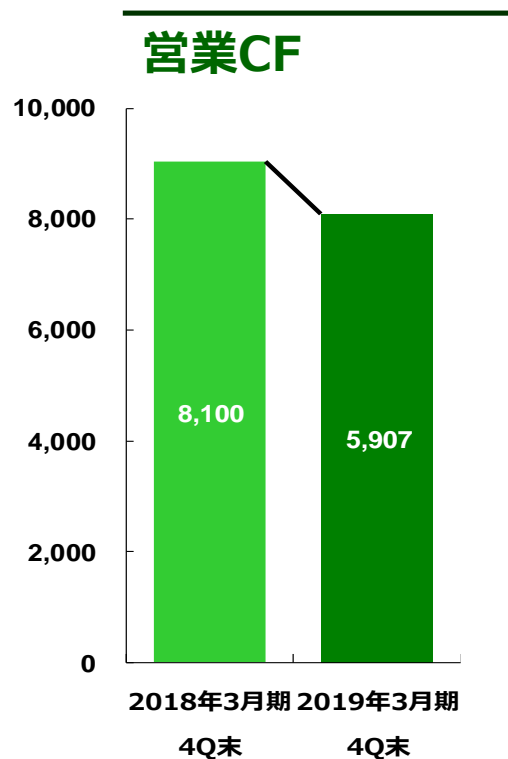


- ・借入金返済による負債の減少
- ・自己株取得による純資産の減少

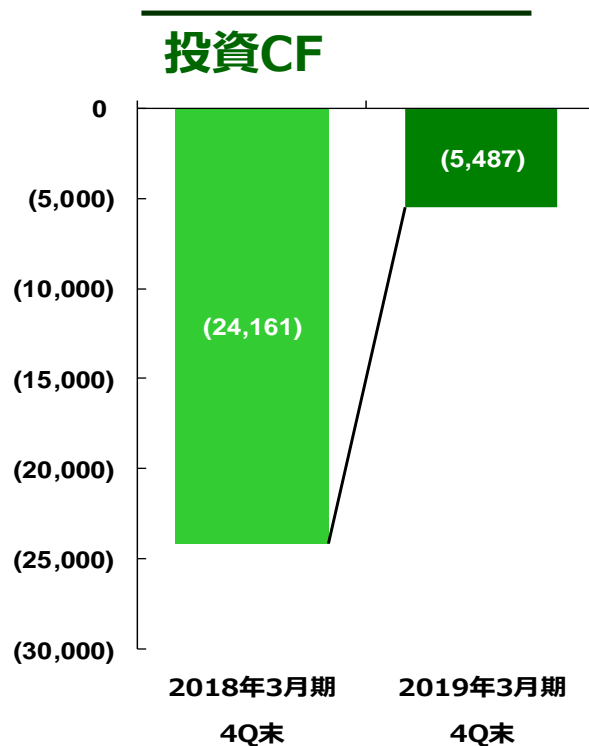
10 2019年3月期 CFの概況

CF前期比較

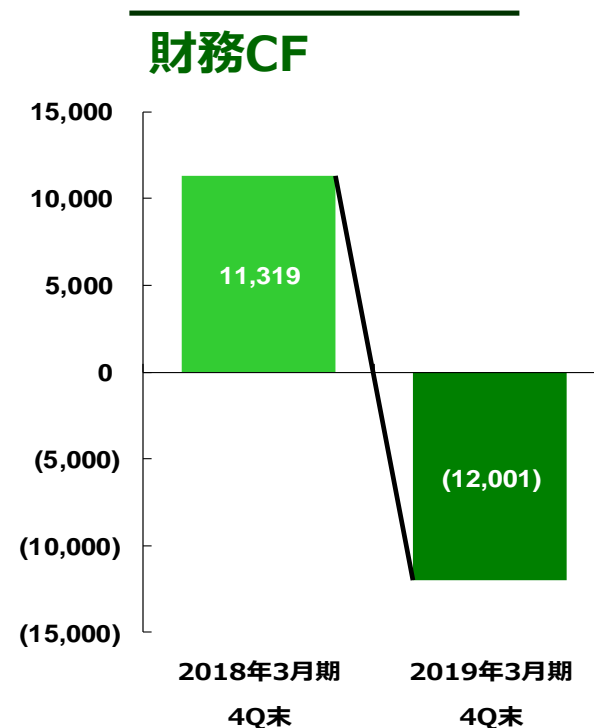
単位：百万円



仕入債務の減少
法人税等の支払額の増加



前期：無形固定資産の取得
当期：有形固定資産の取得

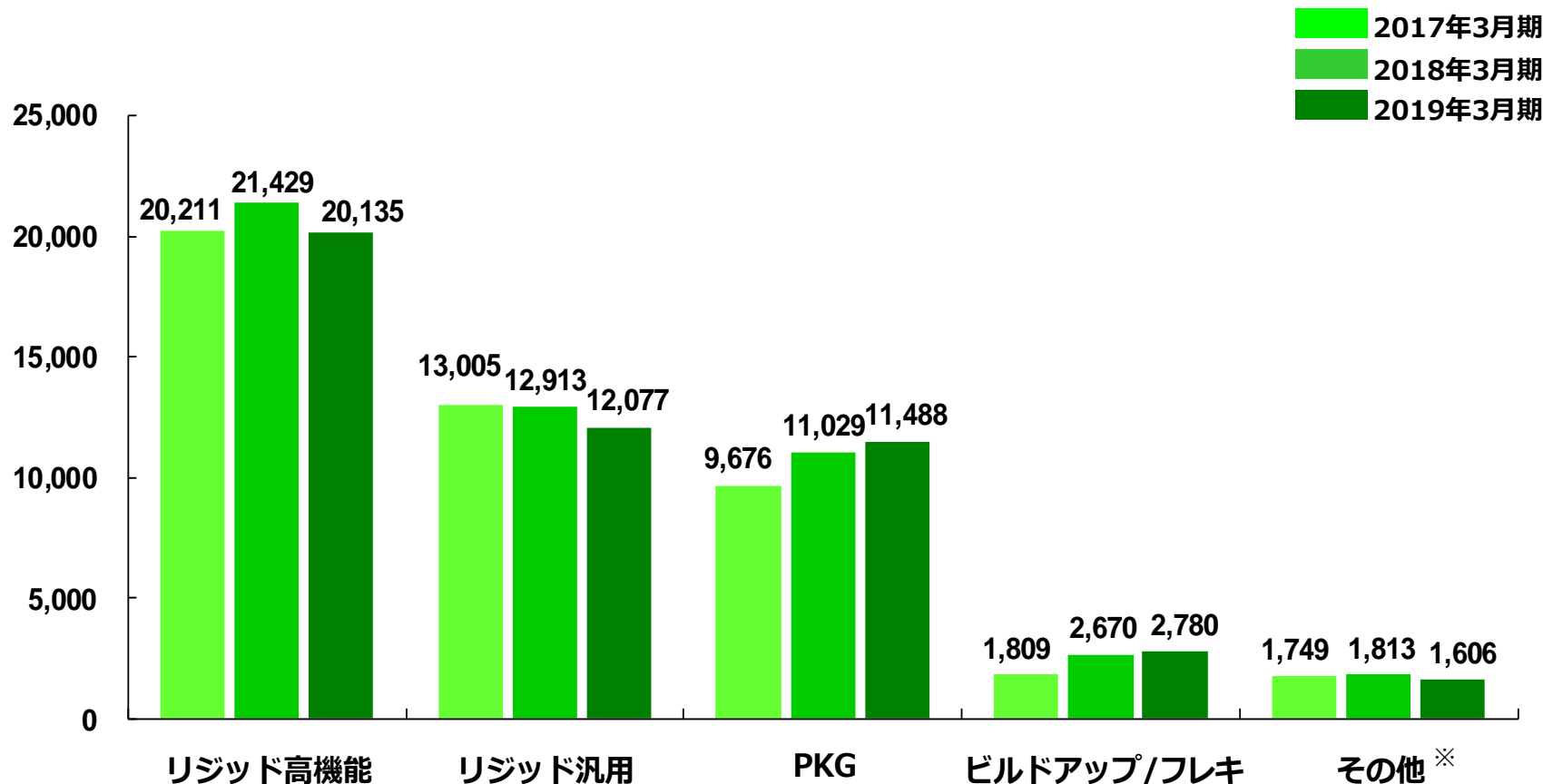


前期：長期借入による収入
当期：自己株式取得
長期借入金の返済

電子機器用部材事業

製品区分別売上高

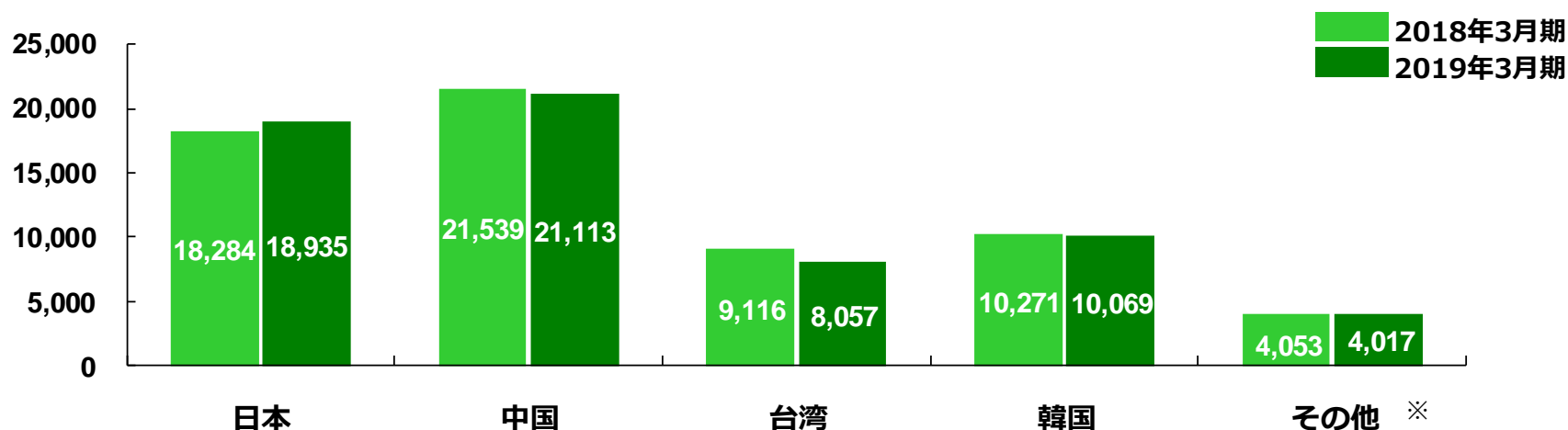
単位：百万円



※2018年3月期第4四半期から報告セグメントを変更したことにより、電子機器用部材事業の「その他」製品区分につきましては、太陽ファルマ、中外化成、太陽グリーンエナジー、MNT 及びTMCの売上高は含まれておりません。

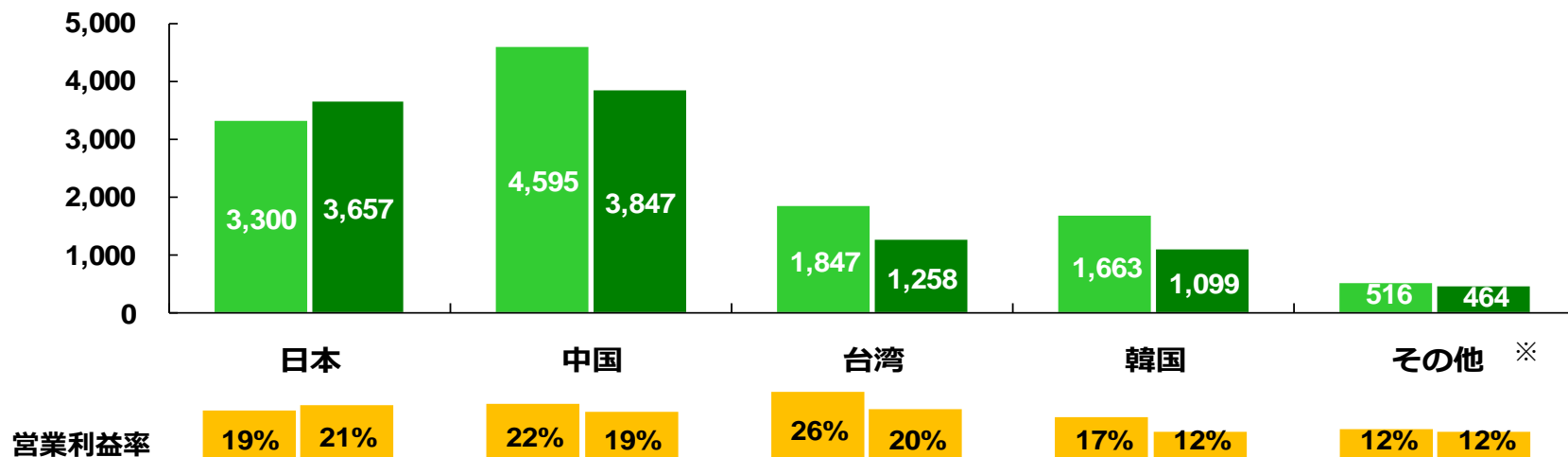
地域別：売上高 (地域間売上高・振替含む)

単位：百万円



地域別：営業利益 (地域間売上高・振替含む)

単位：百万円



※2018年3月期第4四半期から報告セグメントを変更したことにより、電子機器用部材事業の地域別売上高・営業利益につきましては、太陽ファルマ、中外化成、太陽グリーンエナジー、MNT 及びTMCIは含まれておりません。

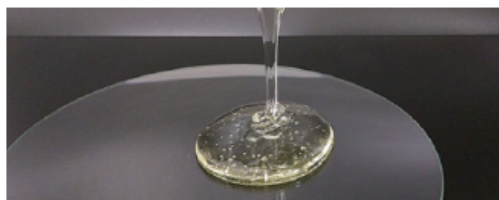
新規分野への出資

会社概要

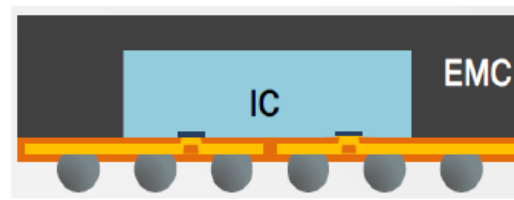
会社名	ウィンゴテクノロジー株式会社
所在地	岡山県岡山市芳賀 5303 岡山リサーチパーク インキュベーションセンター内
設立	2016年5月18日
代表者	代表取締役 ウィンモーソー
資本金	1億1,500万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パワー半導体・高変換率太陽光電池パネル ・次世代自動車等のキー部材であるリチウムイオン電池向けの「高機能可溶性ポリイミド樹脂」の設計・開発・製造

出資による想定されるメリット

- ✓ OLED*¹ 及び半導体用途の新製品を生み出せる可能性がある。
- ✓ ディ스플레이及び半導体向けポリイミド分野における新技術の開拓。



OLED 向け透明 PI



半導体向け再配線用 PI ドライフィルム

*¹OLEDとは、「Organic Light Emitting Diode」の略称であり、発光材料に有機物質を使ったLEDのことを指します。

医療・医薬品事業

新たな長期収載品の譲受について

項目	内容
譲渡者	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
製品名	メキシチール [®]
譲受日	2019年3月28日
製造販売承認の承継時期	2019年10月(予定)
目的	<ul style="list-style-type: none">✓ 製品ラインナップの拡充✓ 情報提供活動やその他事業活動の効率化

第一三共プロファーマ 高槻工場承継について

項目	内容
譲受対象	第一三共プロファーマ株式会社 高槻工場
事業内容	医薬品製造
取得価額	376億円（予定）
取得株式数	未定（発行済株式を取得予定）

承継までのスケジュール

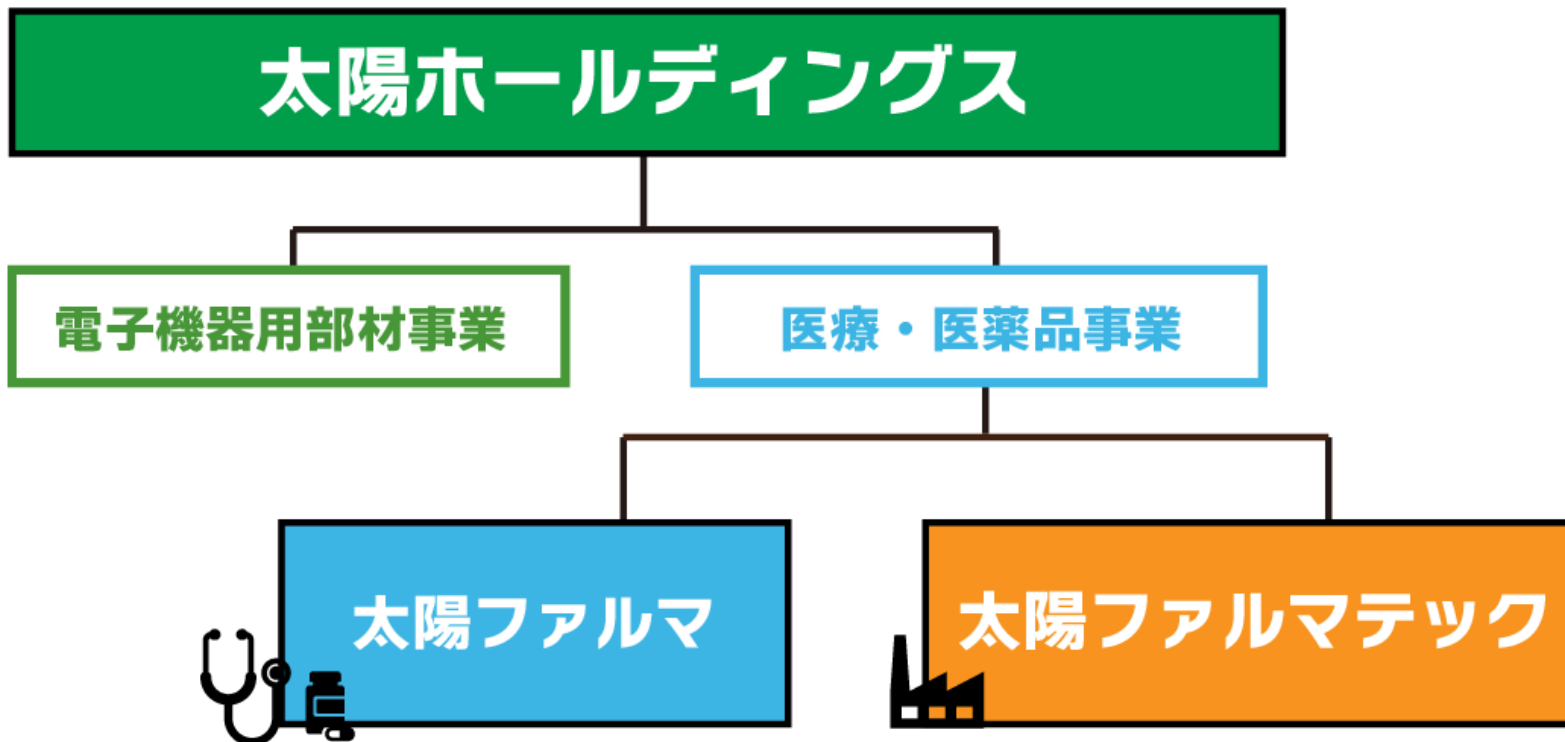
日程	内容
2019年1月31日	株式譲渡に関する基本契約書を締結
2019年10月1日	クロージング及び当社子会社化

第一三共プロファーマ高槻工場の概要

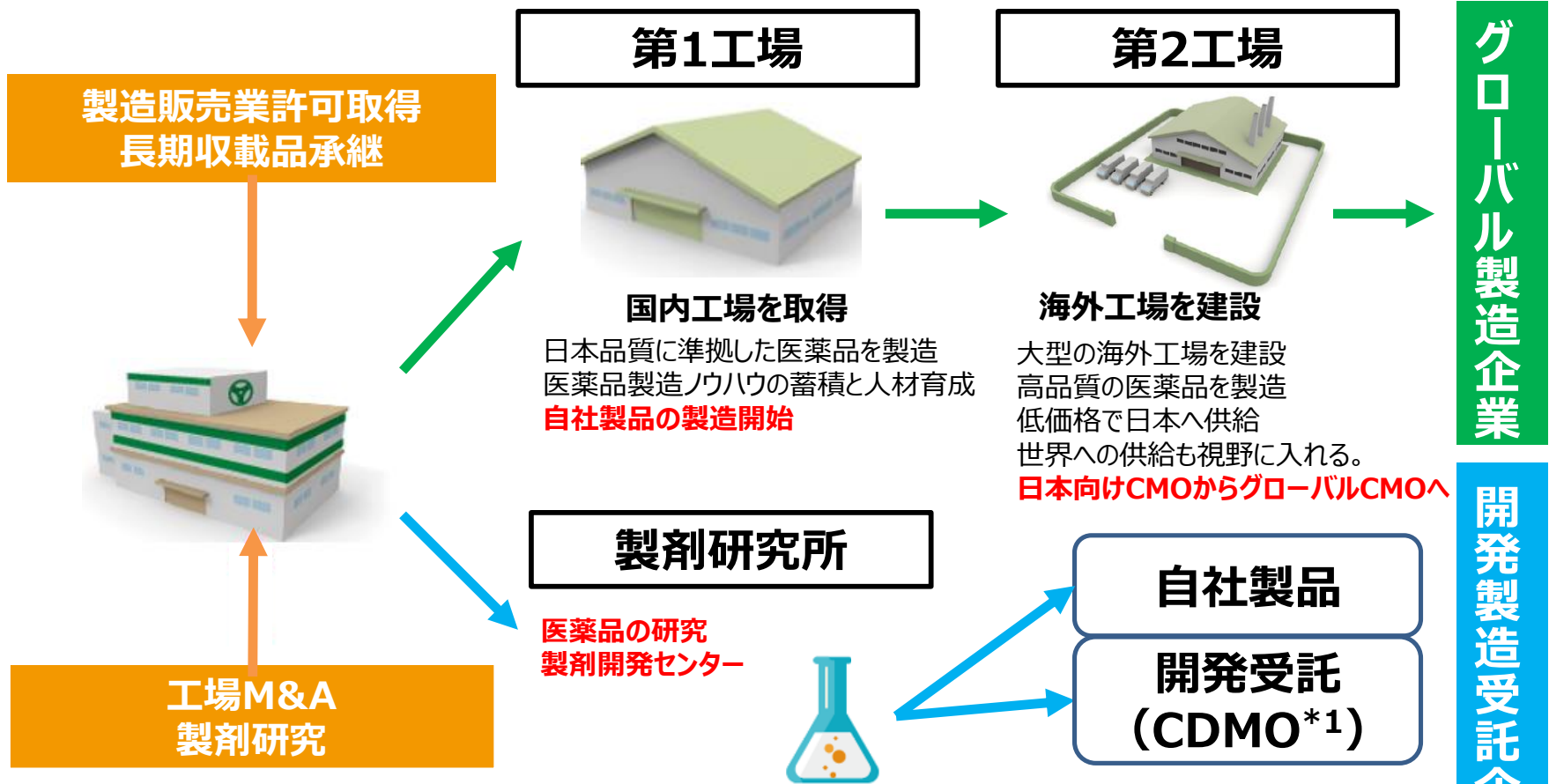
**所在地****大阪府高槻市明田町 4-38****工場創業****1933年****従業員数****約 340 名(2018年4月)**

高槻工場（新会社名：太陽ファルマテック）の位置づけ

太陽ホールディングスの直下に位置付け
（太陽ファルマとは並列で工場会社を運営）



医療・医薬品事業の展望



*1 CDMOとはContract Development Manufacturing Organizationの略語であり、主に製薬企業から医薬品などの製造を受託するビジネスを指す。

医療・医薬品事業の展望

医療・医薬品事業を太陽 HD の第二の柱と位置づけ、
第一三共の DNA を受け継ぐ CDMO 事業、
太陽ファルマの実施する長期収載品事業を両輪で展開


✓
長期収載品を承継（継続）

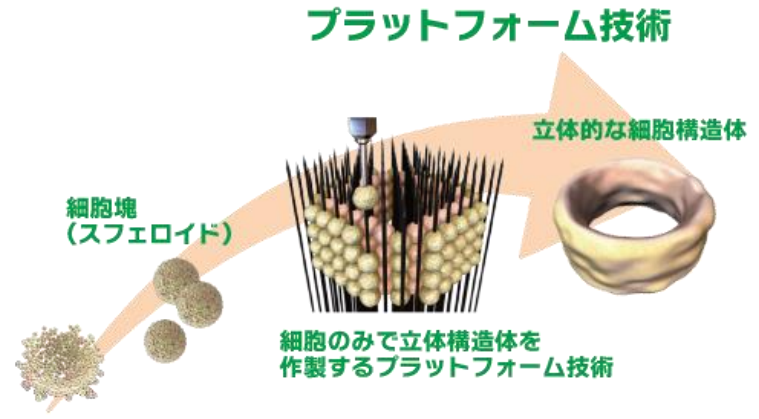


✓✓✓
国内マザー工場（高槻工場）の取得
製剤研究所設立
海外工場の設立

再生医療への出資

会社概要

会社名	株式会社サイフューズ  CYFUSE
所在地	東京都文京区本郷 2-27-17 ICN ビル 5A
設立	2010年8月11日
代表者	代表取締役 秋枝静香
資本金	1億円
事業内容	再生医療等製品の研究・開発・製造・販売、 バイオ 3D プリンタの開発・販売



資本業務提携による想定されうるメリット

- ✓ 再生医療ビジネスへの参入機会の取得
- ✓ 製造設備構築ないし細胞製品の製造の準備
- ✓ 再生医療分野における、当社研究者の育成

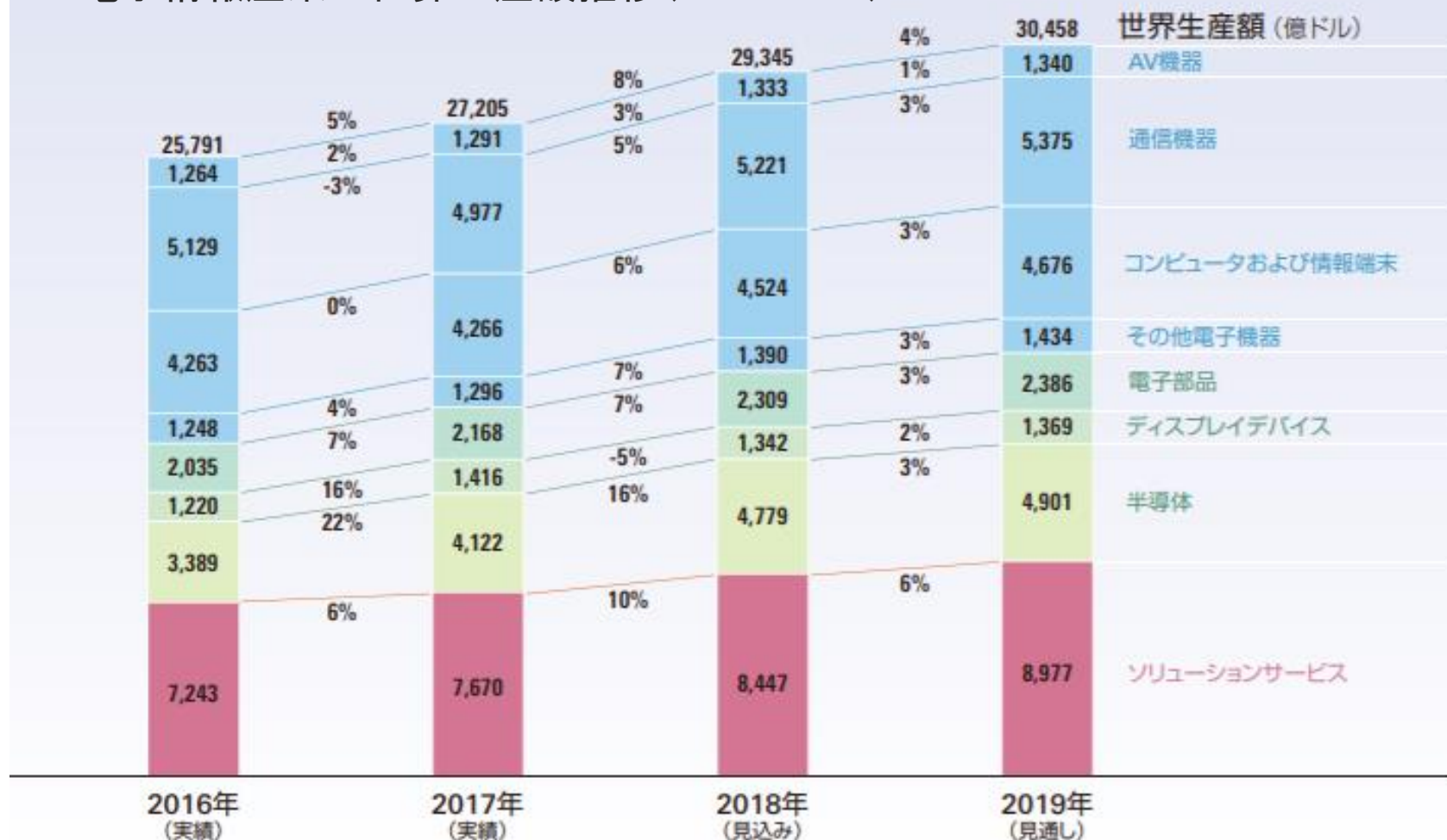
三次元細胞積層システム
(バイオ 3D プリンタ)



2020年3月期 業績予想

電子機器マーケットの予測

電子情報産業の世界生産額推移(ドルベース)



(単位: 金額=億ドル, 対前年伸び率=%)

出典: 一般社団法人 電子情報技術産業協会「電子情報産業の世界生産見通し」(2018年12月)

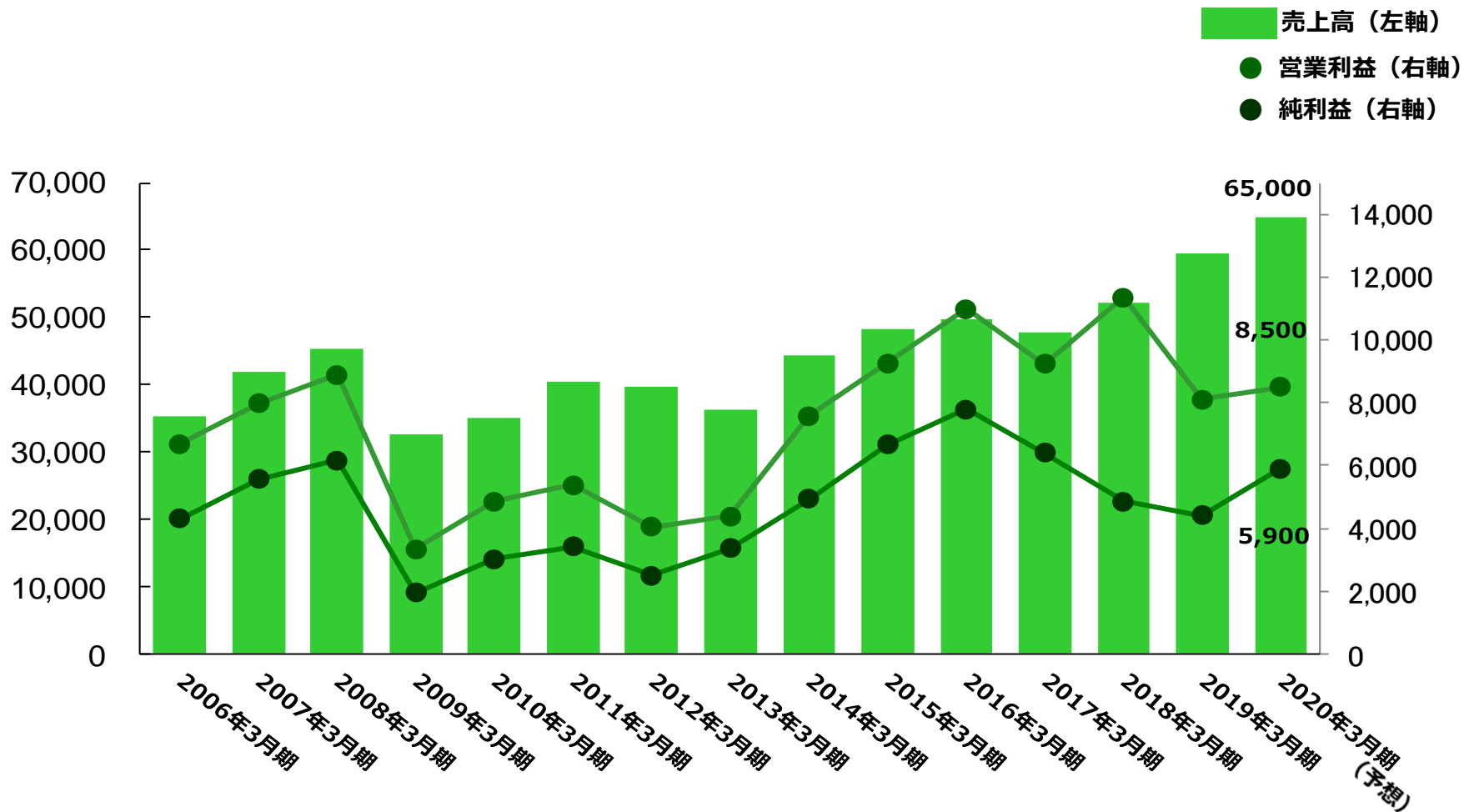
連結業績予想

単位：百万円

	2019年3月期 通期 実績	2020年3月期 通期 業績予想	2020年3月期 通期 参考 (高槻工場込み)	前期比	増減率
売上高	59,389	65,000	72,500	+5,611	+9%
営業利益	8,099	8,500	8,800	+401	+5%
経常利益	8,014	8,400	8,700	+386	+5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,396	5,900	6,100	+1,504	+34%
円・USDレート	110.7	110	110		

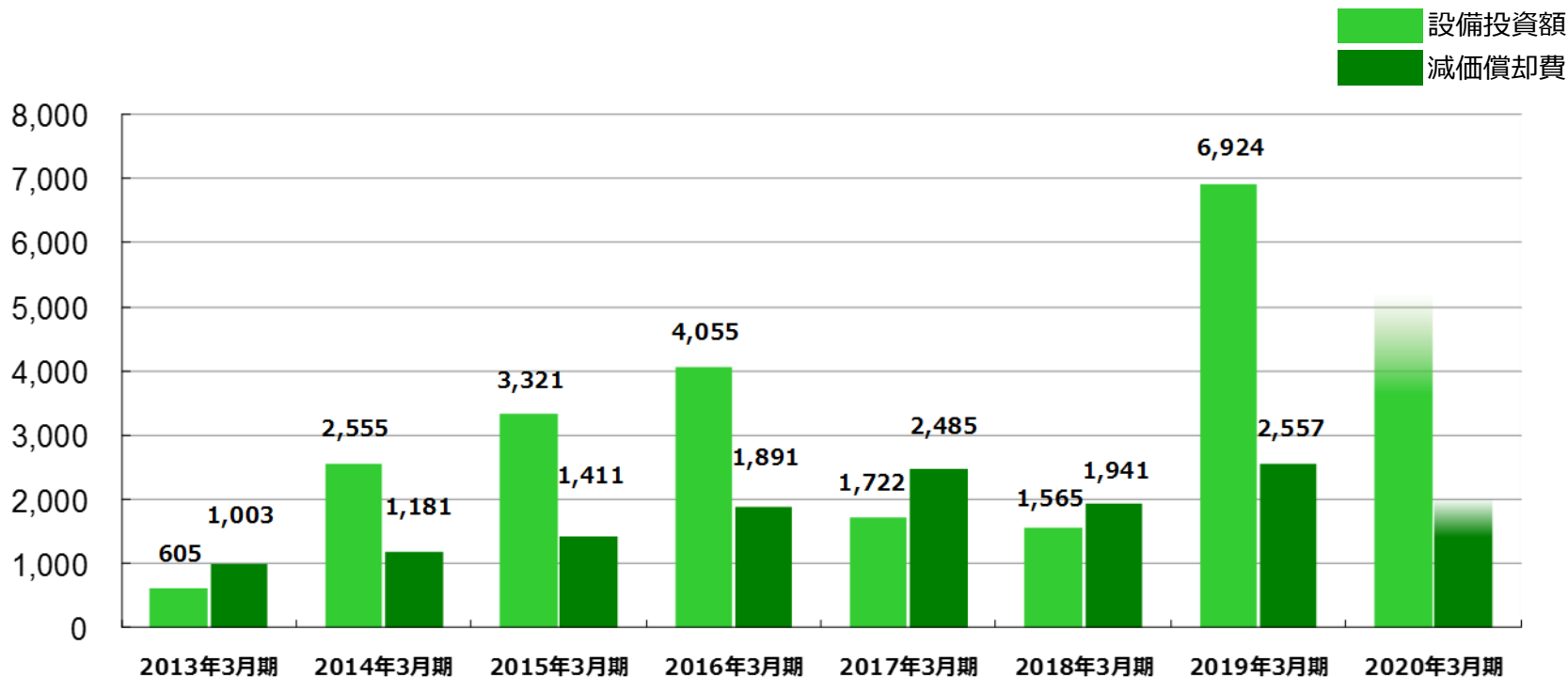
連結業績推移

単位：百万円



年度別推移：設備投資額/減価償却費

単位：百万円



※1 2018年3月期以降長期収載品13製品取得にかかる営業権は設備投資額に含めていません。

※2 上記営業権の償却費は2018年3月期以降減価償却費に含めていません。

(予想)

2020年3月期は既存事業の強化や新規事業の創出に向けた設備投資を引き続き予定しており、約52億円と想定

Appleから100%クリーンエネルギーを使ったサプライヤーとして認定 公式サイトにて「Appleのサプライヤーと製造業者」として紹介

掲載サイト: Apple(日本)公式サイト
掲載URL: <https://www.apple.com/jp/job-creation/>
: <https://www.apple.com/jp/newsroom/2018/04>



山田敏継氏 | 太陽グリーンエネルギー | 埼玉

埼玉にある太陽インキ製造は、プリント配線板（PWB）の絶縁材であるソルダーレジストの製造で世界有数の企業です。同社が製造しているソルダーレジストは、iPhoneのPWBにも使用されています。2017年、太陽インキ製造をはじめとする日本の企業は、Appleのための業務をすべて100%再生可能エネルギーでまかなうことを決定しました。

* Appleホームページ(2019年3月)より抜粋

